



子どもたちの笑顔と元気を大切に

● 国の動き（春の公表に向けて）

2月、第5回「スポーツクラブ」「文化芸術活動」のワーキンググループが開催されました。地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備については、責任所在の在り方について。指導者の質の保障・量の確保に関しては、教職員の兼職兼業や指導資格、部活動指導員の業務範囲等について議論されました。また、大会やコンクールの運営に関わり、大会参加規定（自治体認定と中体連認定のギャップ）についても話題になっていました。

今月（3月）スポーツクラブ・文化芸術活動ともに最終のワーキンググループが開催されます。

● 市の動き

☆第4回部活動地域移行等協議会

2月14日（金）塩尻市中学校部活動地域移行等協議会を開催しました。国・県・市の方向性を確認したのち、地域クラブや指導者の要件について協議しました。



☆種目別地域移行検討会



1月～2月にかけて2回目の種目別地域移行検討会を実施しました。今回は、国・県・市の方向性を踏まえ、R8年度までに休日の地域移行を完了させるための具体的な方法等について検討しました。新年度に入り、第3回目の種目別検討会議を開催し、より具体的な内容を検討していきます。

※詳しくはホームページ（下記QRコード）よりご確認ください。

■【コーディネーターのつぶやき ⑧】

・今年度、種目別検討会を立ち上げました。当然のことながら、その種目に特化した話をするので、会を重ねるごとに具体的な話し合いになってきています。その一方で、地域移行（地域展開）の意義等について話し合う時間があまりないと感じています。例えば、これまでの「地域移行」と「地域展開」は何がどう違うのか？この取り組みによって、塩尻市にどのような変化が生まれるのか？etc

スポーツ庁の室伏長官は「スポーツを学校から解放し、新たな価値を創出する」という言葉を使います。新たな価値って何でしょう？例えばレクリエーション的な活動があれば競技志向の強い活動もあり。練習って毎日必要？1つの種目だけでなく幅広く体験する（マルチスポーツ）も大事では？サッカー選手が陸上を教えたっていいよね。中学生同志だけでなく、地域の方々や幅広い世代と活動できるといいね。など、あらゆる機会を創出してスポーツや文化芸術活動の在り方を考える機会にしようという発信をしています。目先の課題解決も必要ですが、いろいろな機会が生まれることによって、市民の幸福度もさらに高まるのではないかと思います。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp